

悲願へ

箕島球友会

望月良男・有田市長
(45)

チームの皆さんには

地元誇り 初戦突破を

市の行事や保育園の引

越しの時に手伝って

もらい、本場に助かっ



11月2日開幕の第43
回社会人野球日本選手
権大会に出場する和歌
山箕島球友会への応援
メッセージを随時紹介
します。

ています。有田市内に

野球チームがあること

はとても誇りです。仕

事をしながら、貴重な

時間を使って練習に打

ち込むのは大変なこと

と。ハングリー精神を

貫くチームの初戦突破

地域密着で1勝目指す

悲願へ

箕島球友会



第43回社会人野球日本選手権(京セラドーム大阪)に2年ぶり5回目の出場を果たし、

11月2日の開幕戦で悲願の1勝を目指す和歌山箕島球友会。有田市や選手の大半が働くスパー「松源」(本社・和歌山市)に支えられる一方、地域密着型の球団として貢献活動にも積極的だ。

箕島球友会は1996年に箕島高校硬式野球部のOBを中心として発足したクラブチーム。2008年にNPB O法人となり、現在は拠点とするマッゲン有田球場(有田市宮崎町)の指定管理者だ。ここで少年野球教室なども実施している。15年からは、有田市の「ふるさと納税」を活用し、これまで県内外から集まった約1700万円を野球用具や遠征費のほか、球場の整備費などにも充てた。市の担当者「市民の体育活

社会人野球日本選手権 開幕戦登場

同で有田市を活性化させたい」と話す。

シーズンオフの12月ごろから選手は、地元

の保育園の大掃除や力のいる施設の荷物移動

などを買ってやる。エースの寺岡大輝投手

(24)は「毎年この季節になると『今年も1年間野球ができてよかったな』と思う。保育園

で子どもとふれあうの楽しみにしている」。

「活動が定着してきた

と感じている。有田市

感謝している。官民共

動に貢献していただき

と感謝している。有田市

感謝している。官民共

動に貢献していただき

と感謝している。有田市

感謝している。官民共

動に貢献していただき

と感謝している。有田市

感謝している。官民共

シーズンオフ 保育園の大掃除を手伝う

あつての球友会だ」と西川忠宏監督(56)も話

す。

毎年2月の「有田み

かん海道マッソン」で

選手は、出場するだけ

でなくランナーの誘導

や給水のボランティア

でも盛り上げに一役買

っている。

また松源は、多くの

者がスタンドにかけつ

クラブチームが悩まさ

けて声援を送り、一丸

となる初勝利を目指

す。

和歌山市雑賀屋町の

て食事に来てくれま

野球に打ち込める環境を提供している。桑原太郎専務(37)は「選手たちが働くことで店に活気が出るし、野球と同様に組織の中で協働性をもって仕事をしてくれる」と選手雇用のプラス面を評価する。

引退後も、松源で働き、和歌山で家庭を持って生活する選手も多い。

日本選手権の開幕戦には、多くの地元関係者がスタンドにかけつけて声援を送り、一丸となって初勝利を目指す。

また松源は、多くの者がスタンドにかけつけて声援を送り、一丸となる初勝利を目指す。

和歌山市雑賀屋町のて食事に来てくれま

す。僕も毎回、試合結果が気になってインタ

ーネットでチェック

しています。創設から

約20年、クラブチーム

の中で1、2を争う力

がついてきたのではな

いでしょか。企業チ

ームに比べ、練習時間や環境などハンディがあると思いますが、一致団結して日本選手権で頑張っしてほしいです。



対戦したことがありま

す。今でも選手を連れ

が

「ふるさと納税」で遠征費

「有田みかん海道マッソン」でランナーに水を渡し、交流する選手たち。有田市宮崎町のマッゲン有田球場で、有田市提供

